

VERITAS

2021年12月15日発行

クリスマスの意味について

クリスマスは英語で Christmas。このことばは Christ「キリスト」と Mass「礼拝」ということばが合わさったことばで、「キリストを礼拝する日」という意味です。およそ 2000 年前、圧政に苦しむイスラエルにイエス・キリストがお生まれになりました。それは人々にとって暗闇に輝く「希望の光」でした。クリスマスとは、そんな希望の光が、全ての人に与えられているという喜びを祝う日です。

クリスマス献金実施のお知らせ

昨年度は献金を実施する事が出来ませんでした。本年度は感染症対策に気をつけつつ実施させていただき運びとなりました。

今年度は「社会福祉法人やまばと学園」と「止揚学園」に献金を送ります。どちらも重い障害を持った人のための大切な施設です。献金とは、神への感謝や願いを伝える方法でもあります。同時に自分の願いや祈りが具体的な行動になっていく行為でもあります。あくまでも強制ではありませんが、みなさんの行動が誰かの祈りと願いを形にするのだという事を心に留め、各自のお気持ちの中でご用意いただけますと幸いです。

実施日 12月18日(土) クリスマス礼拝内
送金先 社会福祉法人やまばと学園・止揚学園

※礼拝のプログラム内で集めますので当日持参してください。お金を入れる小さな袋はプログラムと一緒に朝の HR で担任の先生からいただいでください。

奉仕委員は、各教室内で献金を入れるカゴを持って献金を集めてください。



クリスマスメッセージ

今年のクリスマスメッセージは、「シャローム」のメンバーである生徒さんが書いてくださいました。

「シャローム」とは聖書では、「平和がありますように」という意味の挨拶で、以前はお昼休みにお昼ご飯を食べながら祈りを合わせたり、讃美をしたりしていました。新型コロナウイルスの状況下にて集まるのが難しくなった今は活動を休止していますが、今後再開に向けて動いていきたいと考えています。いつもとは違う「生徒からのメッセージ」をみなさんぜひご覧下さい。



「あなたは神に愛されている。」

クリスマスという言葉は聖書に一度も出てこないのを知っていますか？既に知っている人が大半だと思いますが、クリスマスはイエス・キリストの生誕をお祝いする日です。聖書にはイエスの生誕に関する記録がありますが、クリスマスという言葉は一度も使われていないのです。しかし世の中ではクリスマスという言葉が使われ、クリスマスをお祝いするのが当たり前になっています。日本、アメリカやヨーロッパなど多くの国で祝われているクリスマスですが、聖書とはかけ離れたものになってしまっているのが現状です。このように聖書に書いてあることが無視されて、クリスマスという言葉が使われるのは悲しいことです。

では、イエス・キリストの誕生の本当のメッセージとはなんなのでしょうか？それは、神さまが私たちを愛してくれているということです。愛してるってどれくらい愛してくれているのでしょうか？神さまはとっても分かりやすく教えてくれました。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

(ヨハネによる福音書 1章 47-48 節)

For God so loved the world that he gave his one and only Son, that whoever believes in him shall not perish but have eternal life. John 3:16

今年のクリスマスは、皆さんが神さまに愛されているということを思い出しながら過ごしてみませんか。

S3A 大谷 恵理架さん

